

南鳥島を活用した海洋関連技術開発 の進め方の基本的な考え方(仮称) について(案)

南鳥島を活用した海洋関連技術開発の進め方の基本的な考え方(仮称)について

低潮線保全基本計画より
南鳥島を拠点とした活動の目標

多数の技術開発の意向の提案

低潮線保全基本計画に定める「特定離島を拠点とした活動の目標」の実現に資するために、同島を技術開発の場としてどのような形で活用していくかについて、本委員会にて「南鳥島を活用した海洋関連技術開発の進め方の基本的な考え方(仮称)」を定めることとしたい。

【南鳥島を活用した海洋関連技術開発の進め方の基本的な考え方(仮称)】

(1) 基本方針

- ① 低潮線保全基本計画に定める「特定離島を拠点とした活動の目標」の実現に資するために、限られた空間である特定離島を技術開発の場として効果的に活用する。
- ② 技術開発の内容は出口指向型・課題解決型(いかに社会や新技術の実用化に貢献するか)とする。
- ③ 特定離島を活用して技術開発を行いたいとする企業、団体、研究機関等の意欲を高める。
- ④ 提案された複数の技術開発案件を適切に組み合わせることにより、成果の相乗効果を高めるとともに、技術開発コストを低減し、技術の実用化を促進する。
- ⑤ 上記を適切に実施するため、「南鳥島を活用した海洋関連技術開発の実施計画」を定め、定期的に見直しを行う。
- ⑥ 平成26年度の公募においては、出口指向型・課題解決型の技術開発案件に関する公募をまず行い、提案のあった技術開発案件の相乗効果を高めるためマッチングを行う。

(2) 実施手順

- ① 「特定離島を拠点とした活動の目標」に資するために、目標に掲げられた活動の実現に向けて実施すべき技術開発分野を特定し公募を行う。
(例: 海洋再生可能エネルギー技術を実用化し、同島が観測・研究活動等の拠点として利用可能となるようなインフラ技術。)
- ② 公募結果を踏まえ、案件のマッチングとプロジェクト実現性向上のための方策と関係者間の調整を行う。
- ③ 「南鳥島を活用した海洋関連技術開発の実施計画(暫定版)」を策定する。
- ④ 同計画においては、以下を定める。
 - i) 「特定離島を拠点とした活動の目標」に資するために、重点的に実施する技術開発の分野
 - ii) 具体的技術開発の内容と年次計画
 - iii) 技術課題の選定方法
 - iv) その他
- ⑤ 実施する技術開発内容と参加者を特定する。
- ⑥ 技術開発を実行に移す。

南鳥島を活用した海洋関連技術開発のスケジュール(案)について

1) H26. 4月上旬～5月中旬:

- ・公募実施(実施すべき技術開発分野を特定して公募する)

2) H26. 5月中旬～6月上旬:

- ・案件のマッチング、実行上の方策検討、関係者間の調整(委員、事務局、応募者)
- ・「南鳥島を活用した海洋関連技術開発の実施計画(暫定版)」を検討(委員、事務局)

4) H26. 6月上旬:

- ・第3回委員会(実施計画(暫定版)の策定、技術開発課題の特定)

5) H27年度以降:

- ・技術開発課題の実行

排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための 低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する基本計画

この基本計画では、特定離島を拠点とした様々な分野における新しい構想に基づいた活動についても、政府が支援し、推進すべき重要な施策の一つとして位置付けている。

●特定離島(南鳥島及び沖ノ鳥島)を拠点とした活動の目標

- ア. サンゴ増殖技術の開発・確立による国土保全
- イ. 海洋鉱物資源開発の推進
- ウ. 持続的な漁業活動の推進
- エ. 海洋における再生可能エネルギー技術の実用化に向けた取組
- オ. 自然環境をいかした新素材の開発
- カ. 人為的影響を受けない環境をいかした地球環境の観測等
- キ. 広域的な地殻変動観測
- ク. 観測・研究活動の拠点としての環境整備
- ケ. 持続可能なエネルギーモデル
- コ. 海洋保護区の設定等による生態系の適正な保全
- サ. 教育・観光の場としての活用等
- シ. 特定離島の活動を支援するための海洋データ収集、海上の安全の確保等

注)下線は技術開発の意向の提案に含まれるもの。

技術開発の意向について

記号	分類テーマ	内容	数
A	海洋再生可能エネルギーの実証	海洋温度差・波力発電等	3
B	食料自給自足の実証／廃棄物リサイクルの実証	食料の自給自足システム、バイオマス資源化	3
C	施設設備、機器機材の開発	深海建設機械、浮体式人工地盤	2
	ロジスティックシステムの開発	軽量コンテナ 船舶接岸・物資揚重支援	2
D	建設技術・材料の開発	コンクリート材料	2
E	防食技術の実証	鋼管杭、鉄筋コンクリートの防食	1
F	環境保全関連の技術開発	環境影響評価	1
		藻類培養、漁場化	2
		サンゴ調査・保全・増殖	5
合計		全21件。分類テーマは6つ。	21